

手間を省いたCMSデザインフロー

tsumiki 2.0 デザインガイド

text : (株)ロクナナ (<http://www.rokunana.com/>)

第一回 デザインテーマジェネレータを使いこなす

tsumiki2.0オリジナルのデザインコンセプトに「デザインテーマ」がある。そして、アレンジも含めた多彩なデザインテーマの作成/登録を可能にするのが、内部に搭載された「デザインテーマジェネレータ」だ。この発想はCMSとしては初となる。スピーディで自在なデザインを実現するために、ぜひ使いこなしたい。

純日本製のCMSが登場！

.....

「tsumiki2.0」は、“制作現場の無駄をなくし、よりクリエイティブな時間を生み出す！”をコンセプトに開発された有償のCMS。Web制作会社向けの「Creative Edition」と、実際にコンテンツの編集をする運営会社向けの「Editorial Edition」という、“制作”と“更新”を分離した2つのライセンス形態で販売されている。

Creative Editionでは、Web制作会社の使用を前提に、徹底的な“使いやすさ”を追求。まったく新しい段階的なワークフローと、非常にユニークで直感的なGUI、そして高度かつ厳密な権限管理が特徴だ。

全3回でtsumiki2.0の主要機能を解説する当連載、初回は「デザインテーマジェネレータ」を紹介しよう。

「テーマ」「グリッド」「ブロック」の発想でデザインを効率的に

.....

tsumiki2.0では、ページのデザイン、レイアウトを「テーマ」として定義することができる。テーマは、グリッド、レイヤ、ブロック、スタイル、アレンジの5つの構成要素を集約したもので、ページ全体の根幹に影響する。テーマを個別または複数のページに割り当てることで、テンプレートの役割を果たすわけだ。「管理画面」から「デザインの設定」を選択。サイト全体で登録されているテーマ

を確認することができる。テーマを編集するには、「デザインの設定」から「ジェネレータを開く」を選択すれば、デザインテーマジェネレータが立ち上がる(01)。

テーマを構成する重要な要素の一つが「グリッド」だ。tsumiki2.0のサイトデザインでは、グリッドデザインを前提としており、基本的な機能として取り入れられている。グリッドの視覚モデルが表示されるため、非常にわかりやすい(02)。テーマで設定するすべての要素は、基本的にこのグリッドのルールに従うかたちとなる。

次に設定する「レイヤ」は、後述する「ブロック」と、それをまとめるdivの入れ子構造を表現するものだ。レイヤは、最下層から背面レイヤ、ラップレイヤ、メインレイヤ、全面レイヤで構成されており、ラップレイヤは5つまで設定することができる。また、実際に定義されたコンテンツが挿入されるのはメインレイヤになるため、それ以外のレイヤは設定しなくてもよい。背面レイヤやラップレイヤは、CSSを用いて背景を支配したい場合などに有効だ(03)。

グリッドに次いで重要な要素が「ブロック」だ。ブロックは、テーマのレイアウトを決定する要素で、CSSを書くことなく、定義されたグリッドに合わせてドラッグ&ドロップでコンテンツの領域となる骨組みを作成することができる。CSSにおけるブロック要素の構造をイメージするとわかりやすいだ

ろう。ブロックには子要素を内包することが可能な「グループ」と、単体で機能する「ブロック」があり、floatを使ってメインカラムとサブカラムで分けた場合には、グループを使用する。また、ブロックには属性としてidをつけることができる(04)。

察しのいい読者であれば、ブロックに指定したidは、CSSのセレクタであることは想像に難くないだろう。このidは「スタイル」で参照することができ(05)、ページの元になるCSSを設問形式で定義。デザインの背景画像や見出し、メニューのイメージなどを設定することが可能だ。

最後の「アレンジ」では、設定したテーマのスタイルに対して独自の指定をしたい場合に使用する(06)。汎用的なデザイン要素はスタイルに定義しておき、テーマによって変更したい箇所などはアレンジに定義するとよいだろう。

今回は、tsumiki2.0の特徴的な機能であるデザインテーマジェネレータを紹介した。直感的なGUIで、CSSやHTMLを書くことなく、さくっとテーマ定義をしてしまうことで、これまでのワークフローではなしえなかった効率性を図ることができるのは魅力的だ。

【次回予告】

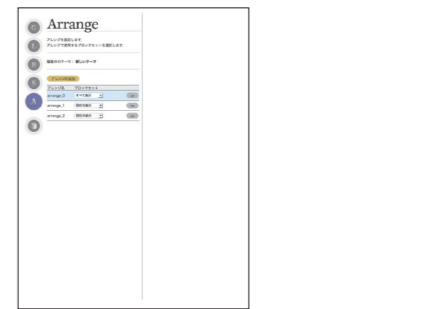
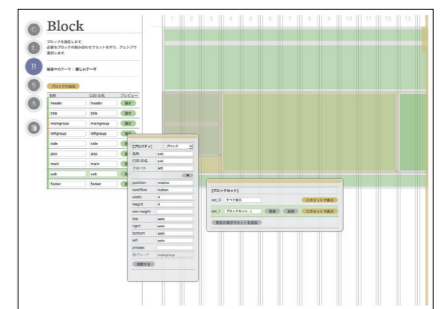
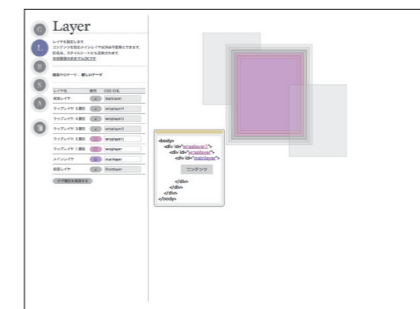
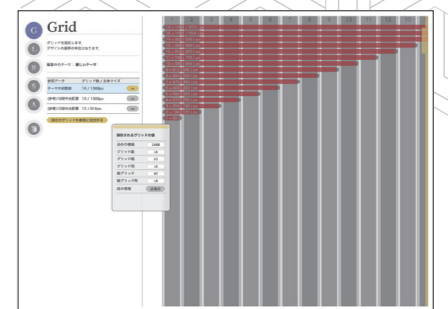
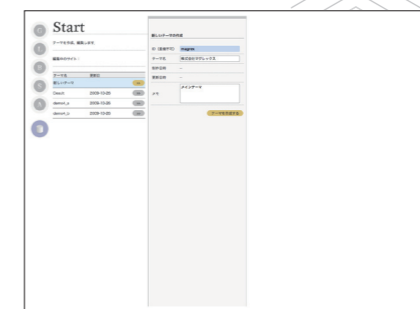
今回は、サイトのリンクを一元管理することができるインデックス機能と、非常に厳密に設定できるユーザー権限管理機能を紹介する。



tsumiki2.0のデザインのベースとなるのが「グリッド」レイアウト。グリッドのテンプレートは「デザインテーマジェネレータ」で設定が可能

- 01 02
- 03 04
- 05 06

- 01 Start 作成済みのものから、どのテーマを編集するか選択する。また、テーマの新規作成もこの画面から行う
- 02 Grid (グリッド) 全体の横幅、グリッド数、グリッド幅、グリッド間 (margin) などの設定を行う。配置方法やグリッドの数の設定、幅はピクセル単位でそれぞれ任意で設定できる。参照するグリッドも複数設定できるのでページによって切り替えることができる
- 03 Layer (レイヤ) HTMLの構造 (<div>) の設定を行う。<div>へのIDの入力もここで設定を行い、使用する/使用しないの切り替えも可能
- 04 Block (ブロック) headerやfooter、メインのコンテンツなど、配置するパーツ「ブロック」の定義を行う。設定した各パーツのpositionや、heightなどのプロパティもこの「Block」で設定する
- 05 Style (スタイル) 各スタイルの設定を行う。ここでの設定は最終的に theme.css に反映される
- 06 Arrange (アレンジ) 作成したブロックセット、スタイルに対して、テーマの中で個別にページに応じた変更が可能。パターンに応じて設定を加えたり、例外を加えることができる



■ tsumiki2.0 製品ラインナップ ■

制作会社向け Creative Edition	標準価格 200,000円 (税抜)	
運営会社向け Editorial Edition	標準価格 65,000円 (税抜)	

開発/販売 マグレックス株式会社

お問い合わせ TEL 03-5468-5168 <http://www.rexw.jp/>

※ 500本限定、無償提供キャンペーン実施中！ 詳しくは、上記オフィシャルサイトをご覧ください。